

栃木放送平成 25 年度第 7 回 11 月期定例番組審議会議事録

1.開催の日時 平成 25 年 11 月 14 日(木)午前 11 時

2.開催の場所 栃木放送本社会議室

3.委員の出席 委員総数 9 名

出席委員 7 名

欠席委員 2 名

出席委員名	委員 長	増 田 仲 夫
	委 員	竹 内 明 子
	委 員	小 島 俊 一
	委 員	岩 村 由 紀 乃
	委 員	高 野 俊 浩
	委 員	石 崎 均
	委 員	中 里 勝 夫
局側出席者氏名	代表取締役社長	吉 澤 文 夫
	常務取締役	竹 澤 一 夫
	報道制作局長	高 瀬 一 也
	報道制作局次長	山 科 哲 郎

4 議 題

(1) 「鈴木智の栃木の元気」について

(2) その他

5 議事内容

(1) 「鈴木智の栃木の元気」について

試聴番組：平成 25 年 10 月 7 日(月)放送

鈴木智の栃木の元気の抜粋を試聴。

議題説明：報道制作局次長 山科哲郎が番組概要について説明。
次に審議に入る。

各委員からは、

パーソナリティが喋りすぎ。もっと相手に話をさせるべき
製品がもっと聴取者にわかるような説明がほしい。

自分ではわかっているが、聴取者にはわかりづらい。もったい
ないと思う。

ラジオで立体を伝えるのは難しい。具体的に何ができるのか、
値段はいくらなのかなどがあるとよかった。

不特定のジャンルを取上げるということだが、身近な分野を取
り上げてもらいたい。

番組自体はいいと思うが、何を引き出したいのかわからない。
専門性が強いので、具体性にかけるような気がする。

何を訴えたいのかわからない。目的がピンとこなかった。

途中から聞くと全く分からない。途中でどんな話なのか入れる
とわかりやすくなるのではないか。

ダイジェストでは分かりにくい。番組の評価をするのは難しい。
ホームページを活用するともっとわかりやすくなると思う。

などの意見が出された。

当社としては今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を説明した。

(2) その他

ダイジェストでは分かりにくいという意見に対しては、本編全体を
録音したメディアを事前に送るようにした。

平成 25 年度第 8 回 12 月期の審議会を平成 25 年 12 月 19 日（木）
に開催することを決めて閉会した。